

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:00	A201 [○] 五箇 公一 ¹ ・坂本佳子 ¹ ・坂本 洋典 ¹ (¹ 国立環境研究所) 国立環境研究所におけるヒアリ・アルゼンチンアリ等の外来アリ類防除対策	B201 [○] 内田 一秀 ¹ ・綿打享子 ¹ ・國友 義博 ¹ (¹ 山梨県果樹試験場) ブドウ「シャインマスカット」におけるチャバネアオカメムシの被害	C201 [○] 日下部 良康 ¹ ・井上 大成 ² (¹ 横浜市・ ² 森林総研・多摩) オオトラカミキリ幼虫の樹脂対策 - 野外生木への幼虫移植 -	D201 [○] 山本 敦司 ^{1,2} (¹ 日本曹達株・ ² J IRAC) 殺虫剤抵抗性対策の農業生産現場への普及課題 「現場指導者の声」	E201 [○] 清水 信孝 ¹ ・梶谷裕二 ¹ ・石井 貴明 ¹ (¹ 福岡県農林業総合試験場) 福岡県の乾田直播栽培水稲における病害虫の発生状況
9:15	A202 [○] 坂本 洋典 ¹ ・鈴木 嵩彬 ¹ ・五箇 公一 ¹ (¹ 国立環境研究所) 国立環境研究所におけるツマアカスズメバチ化学防除手法開発	B202 [○] 松尾 和典 ¹ ・屋良佳緒利 ² ・松永 紀代子 ³ ・行徳 直久 ⁴ ・湯川 淳一 ⁵ ・阿部 芳久 ¹ ・井手 竜也 ⁶ ・守屋 成一 ⁷ (¹ 九大院比文・ ² 農研機構・ ³ 筑紫野市・ ⁴ 久留米市・ ⁵ 九大・ ⁶ 国立科博・動物・ ⁷ つくば市) クリマモリオナガコバチ(ハチ目:オナガコバチ科)の在来寄主の発見	C202 [○] 檜垣 守男 ¹ (¹ 農研機構・果樹茶部門) ゴマダラカミキリの生活史特性と幼虫期間の地理的変異	D202 [○] 山村 光司 ¹ ・須藤 正彬 ¹ ・山中 武彦 ¹ (¹ 農研機構) 薬剤ローテーションは抵抗性発達を遅延させられるか?	E202 [○] 石崎 摩美 ¹ ・平江 雅宏 ¹ (¹ 農研機構・中央農研) イネカメムシの累代飼育法の検討および水田における発生生態
9:30	A203 有子山 俊平 ¹ ・辻和希 ² (¹ 東工大・院・ ² 琉球大・農) ヒアリの定着初期における緊急防除対策	B203 [○] 弘岡 拓人 ¹ (¹ 和歌山果樹試かき・もも研) 有効積算温度を用いたモモ寄生クワシロカイガラムシのふ化盛期予測法の適合性と予測に基づく防除効果	C203 松田 直樹 ¹ ・藤田 諭 ¹ ・田中 一裕 ² ・渡 康彦 ³ ・新谷 喜紀 ⁴ ・後藤 慎介 ⁵ ・西村 知良 ⁶ ・泉 洋平 ⁷ ・沼田 英治 ¹ (¹ 京大・院理・ ² 宮城学院女子大・ ³ 芦屋大・ ⁴ 南九州大・ ⁵ 大阪市大・院理・ ⁶ 日大・生物資源・ ⁷ 島根大・生物資源) 日本列島におけるマダラスズメ体サイズの緯度クラインー約50年前との比較	D203 [○] 松浦 明 ¹ ・竹原 剛史 ¹ ・土田 聡 ² (¹ 宮崎総農試・ ² 農研機構果樹茶) ワタアブラムシのネオニコチノイド剤抵抗性発現に関与するnAChRにおける作用点変異 R81T および遺伝子欠損のある感受性対立遺伝子	E203 [○] 石島 力 ¹ ・石崎 摩美 ¹ ・三浦 重典 ¹ (¹ 農業・食品産業技術総合研究機構・中央農業研究センター) イネツトムシ中〜高齢幼虫発生期におけるBT水和剤の防除効果および残効期間
9:45	A204 [○] 尾山 智洋 ¹ ・堀 雅敏 ¹ (¹ 東北大学大学院農学研究科) 青色光のヒラタチャタテに対する殺虫効果	B204 [○] 軸丸 祥大 ¹ ・星野 滋 ¹ ・森田 剛成 ¹ ・薬師寺 博 ² (¹ 広島総研・農技C・ ² 農研機構・果茶研) イチジクとイヌビワに対するキボシカミキリの産卵嗜好性の評価方法: 種間交雑体を利用した株枯病抵抗性台木の品種登録に向けた予備実験	C204 [○] 田中 一裕 ¹ (¹ 宮城学院女大・一般教育) シバズにおける季節的な雌性先熟	D204 [○] 上樂 明也 ¹ ・桑崎 誠剛 ¹ ・草野 尚雄 ² ・高木 素紀 ² ・窪田 直也 ² ・飯田 博之 ³ ・太田 泉 ³ ・柴尾 学 ⁴ ・城塚 可奈子 ⁴ (¹ 農研機構・生物機能・ ² 茨城農総セ園研・ ³ 農研機構・野菜花き・ ⁴ 大阪環農水研) ネギアザミウマのスピノシン系抵抗性原因遺伝子の解析および遺伝子診断技術の開発	E204 [○] 朝倉 将斗 ¹ ・窪田 聖一 ¹ (¹ 愛媛農水研) 産業用マルチローターによる農薬散布の水稲病害虫防除効果
10:00	A205 [○] 谷山 克也 ¹ ・斎藤 佳乃 ¹ ・堀 雅敏 ¹ (¹ 東北大院・農) チカイエカに対する青色光と紫外光の殺虫効果の比較	B205 [○] 土田 祐大 ¹ ・増井 伸一 ¹ (¹ 静岡農林研果研セ) 経済栽培園における広食性カブリダニによるミカンサビダニの生物的防除	C205 [○] 松井 悠樹 ¹ ・中 秀司 ² (¹ 鳥取大・連農・ ² 鳥取大・農) 日本産 <i>Patania</i> 属数種の幼生期に関する知見	D205 [○] 窪田 直也 ¹ ・高木 素紀 ¹ ・上樂 明也 ² ・小河原 孝司 ¹ (¹ 茨城県農業総合センター園芸研究所・ ² 農研機構・生物機能部門) 茨城県の夏ネギ栽培におけるネギアザミウマの合成ピレスロイド剤抵抗性個体の割合の推移	E205 [○] 塚本 敬之 ¹ ・下川 陽一 ¹ ・有元 倫子 ² ・柴田 隆豊 ¹ ・小幡 善也 ¹ ・江波 義成 ¹ (¹ 滋賀県病害虫防除所・ ² 滋賀県庁) イネ縞葉枯ウイルスの接種時期の違いがイネ縞葉枯病の発生に及ぼす影響

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
F201 [○] 早川 徹 ¹ ・榎原 暁 ¹ ・武部 聡 ² ・井出 徹 ¹ (岡山大学・院・統合科学・ ² 近畿大・生物理工) 新規な殺蚊Cry46Ab トキシンの殺虫活性メカニズム	G201 [○] 芳賀 友里 ¹ ・Sergey Pavlushin ² ・Vyacheslav Martemyanov ² ・澤島 拓夫 ³ ・仲井 まどか ¹ ・国見 裕久 ¹ ・井上 真紀 ¹ (農工大・農・ ² ロシア科学アカデミー・ ³ 近畿大・農) 周期的大発生を伴う宿主マイマイガに対するマイマイガ核多角体病ウイルスの生活史戦略	H201 [○] 上宮 健吉 ¹ ・加嶋 崇之 ¹ ・森戸 梓 ¹ ・佐野 真喜子 ¹ ・有本 裕 ² (石原産業株式会社・中央研究所・ ² 理化学研究所・イノベーション推進センター) タバココナジラミの交尾阻害に関するベミデタッチ [®] 乳剤とウララ [®] DFの作用	I201 [○] 大澤 貴紀 ¹ ・田中 陽子 ¹ (鳥取県園芸試験場) ネダニ類におけるネギ土壌病原菌の選好性について	J201 [○] 藤岡 春菜 ¹ ・岡田 泰和 ² ・阿部 真人 ³ (東大院・広域システム・ ² 首都大・理工・ ³ RIKEN・AIP) 個体-仕事ネットワークでみるアリの分業:非活動個体としての専門化	9:00
F202 [○] 仲井 まどか ¹ ・立澤 社泰 ¹ ・四宮 啓登 ^{1,2} ・高橋 和宏 ¹ ・高務 淳 ³ ・井上 真紀 ¹ ・国見 裕久 ¹ (東京農工大学・農・ ² 住友化学・健康研・ ³ 森林総研) 核多角体病ウイルスにより選抜したチャノココクモンハマキの段階的抵抗性発達と交雑実験による抵抗性遺伝様式の推定	G202 [○] 星崎 杉彦 ¹ (東大農学生命科学) カブトムシ幼虫の成長速度は、性別・脱皮後時間・体サイズに応じて変動する	H202 [○] 加嶋 崇之 ^{1,5} ・森戸 梓 ¹ ・上宮 健吉 ¹ ・森 光太郎 ¹ ・佐野 真喜子 ¹ ・坂井 優 ² ・松浦 昌平 ³ ・北村 登史雄 ⁴ ・大西 純 ⁴ ・安部 洋 ⁵ ・有本 裕 ⁵ (石原産業・ ² 石原バイオ・ ³ 広島県総・ ⁴ 農研機構・ ⁵ 理研) ベミデタッチ [®] 乳剤(アセチル化グリセリド)のトマト黄化葉巻ウイルスの媒介抑制効果の現地実証試験	I202 [○] 香取 郁夫 ¹ ・平松 龍佑 ¹ ・清水 政宏 ¹ ・吉井 涉 ¹ ・清元 優二 ¹ (近畿大学農学部昆虫学研究室) モンシロチョウは訪花学習のとき色と匂いのどちらを優先するか	J202 [○] 宮崎 智史 ¹ ・下地 博之 ² ・池主 格 ¹ ・鈴木 諒平 ³ ・前川 清人 ³ (玉川大院・農・ ² 関西学院大・理工・ ³ 富山大院・理工) トゲオオハリアリの労働タスク決定に伴う vitellogenin 及 <i>bv foraging</i> の発現変化	9:15
F203 [○] 高務 淳 ¹ ・仲井 まどか ² (国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所・ ² 国立大学法人 東京農工大学大学院 農学研究院) ポックスウイルスが保持しているモバイルエレメント	G203 [○] 佐藤 信輔 ¹ ・窪田 直也 ¹ ・小原 孝司 ¹ (茨城農総セ・園研) クリシギゾウムシ <i>Curculio sikkimensis</i> (コウチュウ目:ゾウムシ科) の生存日数および産卵に関する研究	H203 [○] 西野 実 ¹ ・笹山 哲央 ¹ ・森戸 梓 ² ・加嶋 崇之 ² ・磯輪 亮太 ² ・増田 実 ³ (三重県農業研究所・ ² 石原産業(株)・ ³ 桑名普及セ) アセチル化グリセリド剤混用によるトマト黄化葉巻病防除効果の実証	I203 [○] 塩田 裕介 ¹ ・櫻井 健志 ^{1,2} ・内野 恵郎 ³ ・瀬筒 秀樹 ³ ・神崎 亮平 ¹ (東大・先端研・ ² 東農大・農・ ³ 農研機構) フェロモン結合タンパク質遺伝子ノックアウトカイコガの触角葉内でのフェロモン受容神経の応答キネティクス解析	J203 [○] 古藤 日子 ^{1,2} ・本山人 ³ ・田原 拓樹 ³ ・Sean McGregor ⁵ ・森山 実 ^{1,2} ・岡部 隆義 ⁴ ・三浦 正幸 ³ ・Laurent Keller ⁵ (産総研・生物プロセス・ ² 産総研・CBBDOIL・ ³ 東大・院・薬・遺伝・ ⁴ 東大・創業機構・ ⁵ ローザンヌ大学) アリ (<i>Camponotus fellah</i>) における神経ペプチドを介した体表炭化水素合成の制御機構	9:30
F204 [○] 三橋 渡 ¹ (農研機構) ドウガネフイブイと同虫寄生ポックスウイルスのABC トランスポーターの遺伝子構造比較	G204 [○] 富田 秀一郎 ¹ ・河本 夏雄 ¹ ・瀬筒 秀樹 ¹ ・行弘 研司 ¹ (農業・食品産業技術総合研究機構) 日本におけるクワコの分布:八丈島での生息の確認	H204 [○] 北村 登史雄 ¹ ・大西 純 ² ・加嶋 崇之 ³ ・森戸 梓 ³ (農業・食品産業技術総合研究機構九州沖縄農業研究センター・ ² 農業・食品産業技術総合研究機構中央農業研究センター・ ³ 石原産業株式会社) アセチル化グリセリドとトマト黄化葉巻病耐病性品種の併用によるタバココナジラミ密度と TYLCV 感染の抑制効果	I204 [○] 高梨 琢磨 ¹ ・杉浦 真治 ² ・山崎 一夫 ³ ・井上 大成 ⁴ ・土原 和子 ⁵ (森林総研・ ² 神戸大・ ³ 大阪健康安全基盤研・ ⁴ 森林総研多摩・ ⁵ 東北学院大) チョウ目幼虫の機械感覚:気流感覚子の多様性	J204 [○] 沓掛 磨也子 ¹ ・森山 実 ^{1,2} ・深津 武馬 ¹ (産総研・生物プロセス・ ² 産総研・CBBDOIL) ゴール修復する兵隊アブラムシの特殊化したアミノ酸合成・蓄積メカニズム	9:45
F205 [○] 神谷 克巳 ¹ (岐阜農技セ) 昆虫寄生糸状菌の分生子生産条件の検討	G205 [○] 佐藤 幸恵 ¹ ・坂本 洋典 ² ・後藤 哲雄 ³ ・齋藤 裕 ⁴ ・Jung-Tai Chao ⁵ ・Martijn Egas ⁶ ・望月 淳 ⁷ (筑波大・ ² 国環研・ ³ 流通経済大・ ⁴ 北大・ ⁵ 台湾林業試験所・ ⁶ アムステルダム大・ ⁷ 農研機構) 雄同士の攻撃性の異なるススキゴモリハダニ3型における生殖隔離と遺伝距離	H205 [○] 大西 純 ¹ ・北村 登史雄 ² ・加嶋 崇之 ³ ・森戸 梓 ³ (農研機構中央農研・ ² 農研機構九州沖縄農研・ ³ 石原産業) アセチル化グリセリドの ToCV の媒介抑制ならびに2次感染抑制効果の評価	I205 [○] 坂本 佳子 ¹ (国立環境研究所) ミツバチ2種の自己グルーミング行動に関わる胸部体毛の形態比較	J205 [○] 田崎 英祐 ¹ ・三高 雄希 ² ・野崎 友成 ¹ ・小林 和也 ³ ・井内 良仁 ⁴ ・松浦 健二 ¹ (京都市大・昆虫生態研・ ² 京工繊・生物資源・ ³ 京都大・フィールド研・ ⁴ 山口大院・創成科学) シロアリの王の活動的長寿を実現する DNA 修復関連遺伝子の特定	10:00

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
10:15	A206 [○] 岩本 啓秀 ¹ ・高橋 竜太 ¹ ・今井 利宏 ¹ (¹ 日本たばこ産業(株)・葉たばこ研究所)貯穀害虫のマダラメイガ類がライトトラップで捕獲できないのはなぜか?	B206 [○] 眞壁 敏明 ¹ ・溝田 鈴 ¹ ・山崎 裕司 ² ・光畑 雅宏 ³ (¹ 神奈川県農業技術センター横浜川崎地区事務所・ ² 川崎市農業技術支援センター・ ³ アリスライフサイエンス(株))ハダニ難防除ナシ園へのミヤコカブリダニの放飼効果・葉被害の経時変化	C206 [○] 五味 正志 ¹ ・三谷 佳乃子 ¹ ・佐藤 剛 ¹ ・樽谷 智之 ¹ ・青木 良太 ¹ ・藤原 仁 ¹ (¹ 県立広島大学生命環境学部)アメリカシロヒトリの茨城県内2個体群の生活史と関東地方の化性の境界	D206 [○] 小出 哲哉 ¹ ・市川 耕治 ¹ ・鈴木 良地 ¹ ・大橋 博子 ¹ ・大野 徹 ¹ (¹ 愛知農総試)愛知県におけるコナガのジアミド剤抵抗性遺伝子頻度と薬剤感受性	E206 [○] 上杉 龍士 ¹ ・徳丸 晋 ² (¹ 農研機構・東北農研・ ² 京都防除所)ネギハモグリバエに見られた2つの遺伝的系統と被害様相との関係性
10:30	A207 [○] 土井 誠 ¹ ・中野 亮平 ¹ ・片山 晴喜 ¹ ・石川 隆輔 ¹ (¹ 静岡農林技研)ネギのネギアザミウマに対する赤色防虫ネットまたは赤色光照射の防除効果	B207 [○] 守屋 伸生 ¹ ・川武 恵梨子 ¹ ・上里 卓己 ¹ ・秋田 愛子 ¹ ・稲田 拓郎 ¹ (¹ 沖縄農研セ)マンゴー花穂上でスワルスキーカブリダニが捕食するアザミウマ類の種構成	C207 [○] 土佐野 渚 ¹ ・對馬 孝治 ¹ ・笹田 勝寛 ¹ ・西村 知良 ¹ (¹ 日大・生物資源)ハマベハサミムシの成長・産卵・越冬から推定される生活史	D207 [○] 伊藤 悠佑 ¹ ・井尻 悠士 ^{2,1} ・上樂 明也 ³ ・平田 晃一 ⁴ ・刑部 正博 ¹ (¹ 京大院農・ ² 協友アグリ・ ³ 農研機構・生物研・ ⁴ 日本曹達)ナミハダニにおけるピリダベン抵抗性に関するシトクロムP450の特定	E207 [○] 徳丸 晋 ¹ ・上杉 龍士 ² (¹ 京都府病害虫防除所・ ² 東北農業研究センター)京都府におけるネギハモグリバエ別系統の発生および地理的分布
10:45	A208 [○] 村田 未果 ¹ ・針山 孝彦 ² ・山濱 由美 ² ・外山 美奈 ² ・太田 泉 ¹ (¹ 農研機構 野菜花き研究部門・ ² 浜松医科大学)ミナミキイロアザミウマ防除のための赤色光利用の気温条件	B208 [○] 守屋 成一 ¹ ・Mu Mu Thein ² ・Khin Nyunt Yee ² (¹ つくば市・ ² ヤンゴン・ミバエ研)ミャンマー産マンゴーの対日輸出解禁に向けたミカンコミバエ類の現地事前調査	C208 [○] 伊藤 桂 ¹ ・山西 望未 ¹ (¹ 高知大学農林海洋科学部)カシノキマタハダニにおける特殊な卵越冬	D208 [○] 杉本 直也 ^{1,2} ・高橋 彰央 ¹ ・伊原 嶺 ¹ ・伊藤 悠佑 ¹ ・上樂 明也 ³ ・刑部 正博 ¹ (¹ 京大院農・生態情報・ ² 住友化学・ ³ 農研機構・生物研)ナミハダニのシフルメトフェンおよびピフルブミド抵抗性のQTL解析	E208 [○] 青木 由美 ¹ ・青山 政義 ¹ ・大窪 延幸 ¹ (¹ 富山農総技セ)富山県におけるネギハモグリバエの発生状況と薬剤防除効果
11:00	A209 [○] 西濱 健太郎 ¹ ・石倉 聡 ¹ ・星野 滋 ¹ (¹ 広島総研農技セ)スイートコーンの生育差を考慮した分析による黄色光のアワノメイガ被害軽減効果の検証	B209 [○] 佐藤 雅 ¹ ・金田 昌士 ¹ ・佐々木 幹了 ¹ (¹ 横浜植物防疫所)ウリミバエ雄成虫のラズベリーケントリフルオロアセテートへの反応	C209 [○] 澤村 信生 ¹ (¹ 鳥根県農業技術センター)マツモトコナカイガラムシの休眠覚醒に対する温度と日長の影響	D209 [○] 関根 崇行 ¹ ・伊藤 博祐 ² ・柴田 昌人 ³ (¹ 宮城農園研・ ² 宮城亘理普及センター・ ³ 宮城仙台普及センター)宮城県内リンゴ園から採取したナミハダニに対する殺ダニ剤の効果	E209 [○] 佐藤 安志 ¹ ・須藤 正彬 ¹ ・萬屋 宏 ¹ (¹ 農研機構・果茶研・金谷)チャノココクアモンハマキ発生調査のための合成性フェロモンルアー
11:15	A210 [○] 大矢 武志 ¹ ・金満 伸央 ² ・櫻井 民人 ³ ・浜田 康子 ¹ ・安部 洋 ⁴ (¹ 神奈川農技センター・ ² 共立電照・ ³ 農研機構中央農研・ ⁴ 理研BRC)トマト育苗中におけるLED照射によるミカンキイロアザミウマ忌避反応誘導の有無	B210 [○] 難波 加奈 ¹ (¹ 岡山農研)岡山県における施設ブドウのクワコナカイガラムシ越冬世代幼虫発生時期と有効薬剤の選抜	C210 [○] 香川 清彦 ¹ (¹ 宇都宮大・農)ツメクサアブラムシ <i>Aphis coronillae</i> の生活環型に不完全生活環が存在する可能性	D210 [○] 岩本 哲弥 ¹ (¹ 山口県農林総合技術センター)各種薬剤に対するチュウゴクナシキジラミの薬剤感受性について	E210 [○] 山中 武彦 ¹ ・土'田 聡 ² ・長田 穰 ³ (¹ 農研機構 農業情報研究センター・ ² 農研機構 果樹茶・ ³ 東北大学)ワタアブラムシのネオニコチノイド抵抗性の時空間動態を定量化する

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
F206 [○] 奥野 正樹 ¹ ・勾坂 晶 ¹ ・宮本 和久 ¹ ・村上 理都子 ¹ ・渡部 賢司 ¹ ・MWARI MARY ³ ・NGUKU EVERLYN ² ・KASINA MUO ³ ・亀田 恒徳 ¹ (¹ 農研機構・ ² ICIPE・ ³ NSRC) <i>Bombyx mori</i> nucleopolyhedrovirus 経口接種に対するケニア産カイコ品種 ICIPE の特性	G206 [○] 矢野 修一 ¹ ・秋野 順治 ² (¹ 京大院・農・生態情報・ ² 京工織大) ハダニの世界は 立入規制区域がいっぱい	H206 [○] 田中 彩友美 ¹ ・富高 保弘 ¹ ・北村 登史雄 ¹ ・大西 純 ² (¹ 農研機構・九州沖縄農研・ ² 農研機構・中央農研) 黄色粘着板から回収したタバコナジラミ 1 個体からのマルチプレックス RT-PCR 法によるトマト黄化葉巻ウイルス及びトマト退緑ウイルスの同時検出	I206 [○] 吉田 昭広 ¹ ・加藤 義臣 ² ・高橋 啓暢 ³ ・児玉 隆治 ¹ (¹ 基生研・構造多様性・ ² 新座市・ ³ 東京都) はばたきによって脱落するオオスカシバの翅の鱗粉: その特異な形態と脱落機構	J206 [○] 増岡 裕大 ¹ ・前川 清人 ² (¹ 農研機構・生物機能・ ² 富山大・理工) シロアリの兵隊分化制御因子 HR39 の上流経路と標的遺伝子の探索	10:15
F207 [○] 大手 学 ^{1,2} ・嘉糠 洋陸 ^{1,2} (¹ 慈恵医大熱帯医学・ ² 慈恵医大衛生動物セ) ボルバキアによる宿主母性 RNA と RNA ウイルスの制御	G207 [○] 湯川 淳一 ¹ ・守屋 年史 ² ・上宮 健吉 ³ (¹ 九州大学・ ² バードリサーチ・ ³ 久留米大学) タマバエの飛翔能力 —ダイズサヤタマバエとアオキミタマバエの比較—	H207 [○] 亀井 幹夫 ¹ ・松浦 昌平 ¹ ・星野 滋 ¹ ・日本 典秀 ² (¹ 広島総研農技セ・ ² 農研機構中央農研) タバコカシミカメとアセチル化グリセリド乳剤の併用による夏秋トマト栽培でのオンシツコナジラミ防除の2年間の現地実証	I207 [○] 朝日 冨佳 ¹ ・齊藤 準一 ¹ (¹ 京工織大・応生) オオスカシバ成虫の各種行動の日子リズム	J207 [○] 佐々木 謙 ¹ ・宇賀神 篤 ² ・原野 健一 ³ (¹ 玉川大・農・ ² JT 生命誌研究館・ ³ 玉川大・ミツバチ科学) セイヨウミツバチ雌の変態期に生じる脳内ドーパミン系のカーブ差	10:30
F208 [○] 杉本 貴史 ¹ ・粥川 琢巳 ¹ ・渡邊 和代 ¹ ・松尾 隆嗣 ² ・石川 幸男 ² ・陰山 大輔 ¹ (¹ 農研機構・生物機能・ ² 東大院農・応用昆虫) 共生細菌ボルバキアが宿主アズキノメイガにオス殺しを誘導する分子機構の解析	G208 [○] 大河原 恭祐 ¹ ・中村 和貴 ² ・角倉 なつみ ² ・近藤 薫平 ¹ (¹ 金沢大・生命理工・ ² 金沢大・自然システム) ウココアリの顎形態と他の外部形態の地理的変異について	H208 [○] 齊藤 千温 ¹ ・土井 誠 ¹ ・中野 亮平 ^{1,2} ・片山 晴喜 ¹ (¹ 静岡農林技研・ ² 宮崎大) 現地養液栽培大型トマト施設(越冬長期どり: 8月定植、7月終了)におけるタバコカシミカメを利用したタバコナジラミの総合防除	I208 [○] 中野 昭雄 ¹ ・山口 照美 ² ・田中 正彦 ³ ・霜田 政美 ² (¹ 徳島農総技セ・ ² 農研機構・生物機能利用・ ³ (株) ネイブル) タバコカシミカメの活動時刻分布と光に対する誘引反応	J208 [○] 榎井 美咲 ¹ ・榊原 聡一郎 ¹ ・吉村 英翔 ¹ ・山田 佳廣 ¹ (¹ 三重大学・生物資源) セグロアシナガバチのカーブ決定に対するコロニーの存在と日長の影響	10:45
F209 [○] 清水 俊宏 ¹ ・橋床 泰之 ¹ (¹ 北大・農学院 生態化学) エゾシロチヨウ <i>Aporia crataegi adherbal</i> の中腸あるいはその周辺脂肪体に定着・保持された細菌および食草由来葉緑体の解析	G209 [○] Tong Xin ¹ ・Akimoto Shin-ichi ¹ (¹ 北大・農・昆虫体系) Reproductive performance of gall formers in a <i>Tetraneura</i> aphid	H209 [○] 長澤 恵介 ¹ ・日本 典秀 ² ・後藤 格士 ³ (¹ 株式会社誠和 研究開発部・ ² 農研機構 中央農研・ ³ 株式会社トマトパーク) 大型トマト施設栽培におけるタバコカシミカメの防除効果の実証と密度変動	I209 [○] 宮崎 洋祐 ¹ ・田中 一裕 ² ・渡 康彦 ³ (¹ 芦屋大・経営教育・ ² 宮城学院女子大・一般教育・ ³ 芦屋大・臨床教育) タマネギバエの羽化リズムを発現させる温度変化の大きさ	J209 [○] 土田 浩治 ¹ ・井之口 文菜 ¹ ・高橋 萌 ¹ ・野村 哲郎 ² ・高橋 純一 ² (¹ 岐阜大学・ ² 京都産業大学) エゾオオマルハナバチの女王の交尾回数: 繁殖干渉への対抗進化か?	11:00
F210 [○] 吉田 一貴 ¹ ・真田 幸代 ¹ ・徳田 誠 ² (¹ 農研機構九州沖縄農研・ ² 佐賀大・農) 生殖操作を行う共生細菌2種の共存が宿主ヒメトビウankaに及ぼす影響	G210 [○] 水谷 信夫 ¹ ・北村 登史雄 ¹ ・田中 彩友美 ¹ ・安達 修平 ¹ ・富高 保弘 ¹ (¹ 農研機構九州沖縄農業研究センター) オクラのミナミアオカメムシに対する寄主植物としての好適性	H210 [○] 日本 典秀 ¹ ・長坂 幸吉 ¹ (¹ 農研機構中央農研) 捕食性天敵タバコカシミカメと新規防虫資材を併用した夏秋トマトでのコナジラミ類防除体系	I210 [○] 丹伊田 拓磨 ¹ ・畠山 吉則 ¹ ・岩野 秀俊 ¹ ・西村 知良 ¹ (¹ 日大・生物資源) ヨツボシモンシテムシの托卵における孵化の同調と卵サイズ	J210 [○] 土畑 重人 ¹ (¹ 京都大・院農) ワーカーが勝つか、幼虫が勝つか: カーブ運命をめぐる社会コンフリクトのベイズ推定	11:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
15:15	A211 [○] 兼田 武典 ¹ ・中西友章 ¹ ・阿部 成人 ² (¹ 徳島農総技支セ・ ² 徳島大) 食餌浸漬法によるビワキジラミ(<i>Cacopsylla biwa</i>)の有効薬剤の探索	B211 [○] 三代 浩二 ¹ ・外山晶敏 ¹ ・中野 亮 ¹ (¹ 農研機構果樹茶業研究部門生産・流通研究領域) 防除圧の異なる果樹園における黄色粘着トラップへの土着天敵類誘殺数の比較	C211 [○] 荻野 拓海 ^{1,2} ・上原拓也 ² ・山口 照美 ² ・戒能洋一 ¹ ・霜田 政美 ² (¹ 筑波大生命環境・ ² 農研機構生物機能) ナミヒメハナカメムシの歩行活動における日長反応	D211 [○] 下八川 裕司 ¹ ・下元満喜 ^{1,2} ・米津 聡浩 ¹ ・山中聡 ³ ・中石 一英 ¹ (¹ 高知県農業技術センター・ ² 高知県環境農業推進課・ ³ アリストライフサイエンス株式会社) ヤマウチアシボソトゲダニに対する殺虫剤の影響	E211 [○] 北野 大輔 ¹ ・高倉耕一 ¹ (¹ 滋賀県大院・環境科学) 調査地で実施可能な非成虫期ミバ工類の分子同定法
15:30	A212 生咲 巖 ² ・渡邊 丈夫 ¹ (¹ 香川県農協・ ² 香農試府中果樹研) ビワキジラミ <i>Cacopsylla biwa</i> Inoue の防除体系について	B212 [○] 城田 安幸 ¹ ・佐藤悠平 ¹ ・城田 創 ¹ (¹ 株)医果同源りんご機能研究所) 無農薬りんご園の害虫管理(15) 8年間合成農薬・合成肥料を使用せず、有機認証を取得したりんご園に於けるリンゴスガ <i>Y. malinellus</i> の発生	C212 [○] 綱島 彩香 ¹ ・糸山享 ¹ (¹ 明治大院・農) ツヤアオカメムシに対するヤドリバエ寄生率の地理的差異	D212 [○] 小笠原 宏実 ¹ ・船田剛玄 ¹ ・林 敬介 ¹ (¹ シンジェンタジャパン) テフルトリンにおけるキスジノミハムシに対する感受性検定法の確立および国内ダイコン生産地より採集した個体群における検定結果	E212 [○] 有本 誠 ¹ ・日本典秀 ¹ (¹ 農研機構 中央農研) 非破壊的 DNA 抽出法によるネギネクロバネキノコバエの識別
15:45	A213 [○] 手柴 真弓 ¹ ・今村豊 ² ・鍋谷 佳太 ² ・藤富 慎一 ² (¹ 福岡県農林業総合試験場・ ² 南筑後普及指導センター) マルカイガラムシ類に対する展着剤加用殺虫剤の防除効果	B213 [○] 谷口 高大 ¹ ・横山薫 ¹ ・酒井 宏 ¹ (¹ 群馬県農技セ) 群馬県のナシ栽培におけるミヤコカブリダニ製剤を利用したハダニ類防除	C213 [○] 河合 章 ¹ ・太田 泉 ² ・武田 光能 ² (¹ 津市・ ² 農研機構 野菜花き研) ネギハモグリバエの蛹の一部は羽化までに長期を要する	D213 [○] 森戸 梓 ¹ ・加嶋 崇之 ¹ ・武田 千秋 ¹ ・森 光太郎 ¹ ・佐野 真喜子 ¹ ・森田雅之 ¹ (¹ 石原産業株式会社) 新規殺虫剤シクラニプロールに関する研究(第7報)-チャノコカクモンハマキの室内薬剤淘汰-	
16:00	A214 [○] 風間 春奈 ¹ ・石栗陽一 ² ・細田 奈麻絵 ³ ・森直樹 ¹ ・吉永 直子 ¹ (¹ 京大院農・ ² 青森産技セ りんご研・ ³ 物材機構) 炭酸カルシウム水和剤の対モモンシクイガ産卵抑制活性	B214 [○] 角 菜津子 ¹ ・澤村信生 ¹ ・山本 隼佑 ¹ (¹ 鳥根農技セ) 施設ブドウにおけるカブリダニ類のブドウ樹と下草間の移動について	C214 [○] 白井 拓也 ¹ (¹ 山形大・農) 庄内平野南部におけるマルタニシの生息状況と生息環境について	D214 [○] 秋月 岳 ¹ ・中村 有希 ² ・藤井 智久 ¹ ・真田 幸代 ¹ ・松村 正哉 ¹ ・桑崎 誠剛 ² ・横井 翔 ² ・上樂 明也 ² ・山本 公子 ² ・篠田 徹郎 ² (¹ 農研機構九沖農研・ ² 農研機構生物機能部門) セジロウソウの GABA 受容体変異型遺伝子は正常型遺伝子と重複している	E214 [○] 中野 亮平 ^{1,2} ・日本典秀 ³ ・大野 和朗 ¹ (¹ 宮崎大・ ² 静岡農林技研・ ³ 農研機構・中央農研) Molecular gut-content analysis of <i>Nesidicoris tenuis</i> to detect plant feeding
16:15	A215 [○] 美山 和宏 ¹ ・横尾暢哉 ¹ ・井上 弘 ¹ (¹ アース環境サービス株式会社) 製造環境における飛翔昆虫モニタリングの次世代手法	B215 [○] 吉村 忠浩 ¹ ・森 光太郎 ¹ ・中島 哲男 ² ・山我岳史 ³ ・宮崎 仁実 ³ ・外山晶敏 ⁴ ・岸本 英成 ⁴ (¹ 石原産業(株)・ ² 石原バイオサイエンス(株)・ ³ JA 全農・ ⁴ 農研機構果樹茶部門) ミヤコカブリダニおよびスワルスキーカブリダニ雌成虫の生存および産卵数に対する農薬の影響についての考察	C215 [○] 吉田 和弘 ¹ ・和田 節柳澤 由加里 ¹ ・富原 工弥 ¹ ・田中 雅也 ¹ ・八瀬 順也 ¹ (¹ 兵庫農技総セ) 兵庫県におけるスクミリンゴガイの分布状況および越冬可能地域の推定	D215 [○] 村田 康允 ¹ ・降幡駿介 ^{1,2} ・五箇 公一 ¹ (¹ 国立環境研・ ² 農研機構) アオモンイトトンボ幼虫における餌資源を介したフィプロニル影響	E215 [○] VINA RIZKAWATI ¹ ・塚田 森生 ¹ (¹ 三重大院 生物資源) Effect of food plant on ovarian development of <i>Corythucha marmorata</i>
16:30	A216 [○] 深谷 緑 ^{1,4} ・桐山 哲一 ¹ ・伊東 桂一 ¹ ・岩田 隆太郎 ¹ ・安居 拓恵 ² ・所 雅彦 ³ ・高梨 琢磨 ³ ・加賀谷 悦子 ³ (¹ 日大・生物資源・ ² 中央農研・ ³ 森林総研・ ⁴ 順大・医) クビアカツヤカミキリのフェロモン・糖酢液併用による誘殺法:改良の試み	B216 [○] 外山 晶敏 ¹ ・岸本英成 ¹ (¹ 農研機構・果樹茶) ミヤコパンカー®のカブリダニ放出特性と、その効率的な利用方法の検討	C216 [○] 後藤 哲雄 ¹ ・Marida Bayu ² (¹ 茨城大・農; 流通経済大・ ² 茨城大・農; ILTCRI, Indonesia) 定温及び変温条件下におけるナミハダニの発育と増殖	D216 [○] 塩月 孝博 ¹ ・西原希絵 ¹ ・古田 賢次郎 ¹ ・宮井 雄大 ¹ ・菊田 真吾 ² ・山崎 俊正 ³ ・鈴木 倫太郎 ³ ・土屋 渉 ³ (¹ 鳥根大・生物資源・ ² 茨城大・農・ ³ 農研機構) ベンジイミダゾール誘導体のカイコ成長へ与える影響	E216 [○] 鈴木 嵩彬 ^{1,2} ・池田透 ² (¹ 国環研・ ² 北大・院・文) What we need to focus on to progress invasive non-native raccoon management

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
F211 [○] 森山 実 ^{1,2} ・深津 武馬 ¹ (産総研・生物プロセス・産総研・CBBDOIL) 腸内共生細菌がつくるカメムシの緑体色	G211 [○] 藤井 智久 ¹ ・田村 克徳 ¹ ・中西 愛 ¹ ・真田 幸代 ¹ ・秋月 岳 ¹ ・松村 正哉 ² (農研機構九州沖縄農研・農研機構本部) トビイロウンカの薬剤抵抗性発達は抵抗性イネ系統に対する加害性を変えるか?	H211 [○] 堀川 拓未 ¹ ・種村 竜太 ¹ ・高岡 裕樹 ² ・齋藤 勲 ³ (新潟園芸研・新潟普及セ・新潟経普) キュウリ養液栽培のネコブセンチュウに対する低温条件での培地還元消毒の防除効果	I211 [○] 中井 清裕 ¹ ・佃 晋太郎 ¹ ・中西 充 ¹ ・池内 隆夫 ¹ (香川県農業試験場) スピードスプレイヤーを使用した省力的なアスバラガスのカンザワハダニ防除	J211 [○] 松本 由記子 ¹ ・服部 誠 ² (農研機構・元 生物研) ツマグロヨコバイ唾腺で発現しているマルチ銅オキシダーゼ遺伝子	15:15
F212 佐藤 由也 ¹ ・Jang Seonghan ² ・伊藤 英臣 ³ ・堀 知行 ¹ ・菊池 義智 ^{2,3} (産総研・環境管理・北大・農・産総研・北海道) 腸内細菌による殺虫剤の <i>in vivo</i> 解毒プロセスの解明	G212 [○] 近森 ちさこ ¹ ・日本 典秀 ² ・中石 一英 ¹ (高知県農技セ・中央農研) 高知県の促成栽培シントウにおけるチビトビカスミカメ類の種構成	H212 [○] 植原 健人 ¹ ・立石 靖 ¹ ・岡田 浩明 ¹ (農研機構中央農研) テンサイシストセンチュウに対するおとり作物候補とその密度抑制効果	I212 [○] 本田 善之 ¹ ・河村 俊和 ¹ ・岩本 哲弥 ¹ ・溝部 信二 ¹ (山口県農林総合技術センター) ホウレンソウケナガコナダニに対するカーバムナトリウム塩液剤の少量・簡易化処理の防除効果	J212 [○] Ghazy, Noureldin Abueifadl ¹ ・Suzuki, Takeshi ¹ (TUAT) Functional analysis of a <i>vacuolar-type H+-ATPase</i> gene in the predatory mite, <i>Neoseiulus californicus</i>	15:30
F213 [○] 西出 雄大 ¹ ・上樂 明也 ¹ ・横井 翔 ¹ ・二橋 亮 ² ・深津 武馬 ² (農研機構・生物機能・産総研・生物プロセス) 共生細菌のコントロールにおける Lysozyme の役割	G213 [○] 河野 勝行 ¹ ・田中 義弘 ² ・横井 智之 ³ ・池本 美都 ³ ・飯田 博之 ¹ ・太田 泉 ¹ (農研機構野菜花き研・鹿児島農総セ・筑波大保全生態) カボチャ・ニガウリの訪花昆虫相の作目間・場所間・雌雄花間・年次間の比較	H213 [○] 金子 政夫 ¹ ・北林 聡 ¹ (長野県野菜花き試験場) テンサイシストセンチュウに対する各種薬剤の防除効果と今後の課題	I213 [○] 稲川 光一 ¹ ・谷川 哲朗 ¹ ・芝 伸健 ¹ (協友アグリ(株)) エトキサゾールのネダニ類に対する効果とその特性	J213 [○] リシャー コルネット ¹ ・グセフ オレグ ² ・黄川田 隆洋 ¹ (農研機構・生物機能利用研究部門・理研) ネムリユスリカにおける乾燥休眠の誘導メカニズムについて	15:45
F214 [○] 高井 嘉樹 ¹ ・古賀 隆一 ¹ ・森山 実 ^{1,2} ・深津 武馬 ¹ (産総研・生物プロセス・産総研・CBBDOIL) カメムシ-大腸菌人工共生系から見てきた共生細菌となるための条件	G214 [○] 萩原 北斗 ¹ ・野村 拓志 ¹ ・浅井 一秀 ¹ ・野崎 耕作 ¹ ・小堀 富広 ¹ ・有吉 立 ¹ (アース製薬(株)) 栄養源がチャコウシラナメクジの生育、生存、繁殖に与える影響	H214 [○] 星野 滋 ¹ ・軸丸 祥大 ¹ ・森田 剛成 ¹ ・薬師寺 博 ² (広島総研農技セ・果樹茶部門ブドウカキ) イチジクに対するサツマイモネコブセンチュウの毒性の検定方法	I214 [○] 野山 晋平 ¹ ・福永 聡 ¹ ・泉 進 ¹ ・有本 裕 ² ・鈴木 文詞 ³ (OAT アグリオ(株)) サフオイル乳剤はハダニ類に残効性を示す	J214 [○] 本間 悠里 ¹ ・浅野 美和 ² ・榎 浩平 ¹ ・篠田 徹郎 ² ・外川 徹 ¹ (日大・文理・農研機構・生物機能部門) カイコガにおける <i>PTEN-like phosphatase (Plip)</i> の <i>in vivo</i> 機能解析	16:00
	G215 [○] 長谷川 勇介 ¹ ・多々良 明夫 ¹ ・上遠野 富士夫 ¹ (法政大・生命科学) シキミに寄生する3種のフシダニ Eriophyoidae と葉の輪紋症状について	H215 [○] 奈良部 孝 ¹ ・坂田 至 ¹ ・浅野 賢治 ¹ ・相場 聡 ^{1,2} (農研機構・北農研・機構本部) バレイシヨ抵抗性品種栽培によるジャガイモシロシストセンチュウ密度低減効果	I215 [○] 高田 愛弓 ¹ ・野山 晋平 ² ・有本 裕 ³ ・鈴木 文詞 ¹ (農工大院・BASE・OAT アグリオ(株)) サフオイル乳剤の残効性の作用機構：残効期間と行動阻害	J215 [○] 管原 亮平 ¹ ・田中 誠二 ² ・上樂 明也 ³ ・塩月 孝博 ⁴ (弘前大・農生研・農研機構・島根大) サバクトビバッタの黒化を制御するコラゾニン下流転写因子	16:15
	G216 [○] 嶋田 正和 ¹ ・長瀬 泰子 ¹ ・大林 夏湖 ¹ ・徳永 幸彦 ² (東大・総合文化・広域・筑波大・生命環境) 広範な目の種子で育つ中国産アズキゾウムシの前適応と先回り進化：日本産との交雑実験	H216 [○] 札 周平 ¹ ・高木 素紀 ¹ ・小河原 考司 ¹ (茨城県農業総合センター園芸研究所) レタス露地圃場で栽培される輪作作物及び対抗植物に対するキタネグサレセンチュウの寄生性	I216 [○] 妙楽 崇 ¹ (岐阜農技セ) 促成栽培イチゴにおける冬季 IGR 剤散布によるヒラズハナアザミウマ密度の抑制	J216 [○] 神村 学 ¹ ・伊藤 由果 ¹ ・上樂 明也 ¹ ・鈴木 倫太郎 ² ・木田 奈緒 ³ ・石川 謙 ³ ・内山 博允 ⁴ ・長島 孝行 ⁵ (農研機構生物機能・農研機構高度解析セ・東工大物質理工学院・東農大ゲノム・東農大農) ナミハナムグリの構造遺伝子の同定	16:30

3月26日(火)午後 一般講演

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
16:45	A217 [○] 上地 奈美 ¹ ・三代 浩二 ¹ (¹ 農研機構 果樹茶業研究部門) 6樹種の切り枝に対するクビアカツヤカミキリ雌成虫の産卵選好性	B217 [○] 岸本 英成 ¹ ・柳沼 勝彦 ¹ ・外山 晶敏 ¹ (¹ 農研機構果樹茶) リンゴ園下草に生息するミチノクカブリダニ保全に適した草刈り高の検討		D217 [○] 松本 信弘 ¹ (¹ 茨城県立医療大学) Bt剤の殺虫活性(力価)比較のための in vitro chemical assay 法の検討	E217 [○] 藏 満 司 夢 ¹ ・Thitaree Yooboon ^{1,2} ・戸 祭 森彦 ¹ ・山田 秀雄 ¹ ・横井 智之 ¹ (¹ 筑波大学・ ² Kasetsart 大学) Precopulatory mate-guarding behavior by <i>Ibalia japonica</i> (Hym.: Ibalidae)
17:00	A218 [○] 浦野 忠久 ¹ (¹ 森林総合研究所) クビアカツヤカミキリ人工飼料の作製と幼虫の発育	B218 [○] 園田 昌司 ¹ ・三川 裕也 ¹ ・逢沢 峰昭 ¹ ・上杉 龍士 ² ・刑部 正博 ³ ・森 光 太郎 ⁴ ・外山 晶敏 ⁵ (¹ 宇都宮大学農学部・ ² 東北農業研究センター・ ³ 京都大学農学研究科・ ⁴ 石原産業(株)・ ⁵ 果樹研究部門) ナシ圃場に発生する土着カブリダニ種とカブリダニ製剤の識別		D218 [○] 佃 晋太郎 ¹ ・中井 清裕 ¹ ・相澤 美里 ² ・熊野 明美 ¹ (¹ 香川農試・ ² 香川みどり整備) アザミウマ類における簡易薬剤感受性検定手法の開発(3) 主要薬剤系統別の検定条件の検討	E218 [○] JANG, Seonghan ^{1,2} ・KIKUCHI, Yoshitomo ^{1,2} (¹ Hokkaido University・ ² AIST Hokkaido) A novel function of Duox in insect-microbe gut symbiosis: development of trachea network and stabilization of symbiotic association
17:15	A219 [○] 石栗 陽一 ¹ ・十川 聡子 ¹ ・荒井 茂充 ¹ (¹ 青森県産業技術センターりんご研究所) 設置労力低減を目的とした新規交信攪乱剤のリンゴ害虫に対する効果	B219 [○] 山口 晃一 ¹ ・森 光 太郎 ¹ ・中島 哲男 ² ・山田 明日香 ³ ・本居 真一 ⁴ (¹ 石原産業(株)・ ² 石原バイオサイエンス(株)・ ³ 福岡県福岡普及指導センター・ ⁴ 千葉県長生農業事務所) 夏期の施設栽培ガーベラとバラのミヤコバンカー [®] によるハダニ防除効果		D219 [○] 山口 貴大 ¹ ・今村 剛士 ¹ ・井村 岳男 ¹ (¹ 奈良県農業研究開発センター) 促成イチゴ栽培における防除体系の違いがナミハダニ黄緑型の薬剤感受性に及ぼす影響	E219 [○] Nguyen, Dat Tuan ¹ ・Sam, Leyheng ¹ ・Zhang, Chi ¹ ・Nguyen, Chau Ngoc Bao ² ・Takasu, Keiji ¹ (¹ Kyushu university・ ² HoChiMinh Open Uni. Vietnam) Rearing cassava mealybug <i>Phenacoccus manihoti</i> (Hemiptera: Pseudococcidae) and its parasitoid <i>Anagyrus lopezi</i> (Hymenoptera: Encyrtidae) on taro (<i>Colocasia esculenta</i>), a potential alternative host plant

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場
		H217 [○] 北林 聡 ¹ ・岡田 浩明 ² ・植原 健人 ² ・金子 政夫 ¹ (¹ 長野県野菜花き試験場・ ² 農研機構 中央農研) 孵化促進液を用いたベルマン法によるテンサイシストセンチュウの定量的評価		16:45
		H218 [○] 高木 素紀 ¹ ・札 周平 ¹ ・宇佐見 俊之 ² ・水久保 隆之 ³ ・小河原 孝司 ¹ (¹ 茨城農総セ園研・ ² 千葉大・園・ ³ 丸和バイオケミカル) 茨城県のレタス圃場におけるネグサレセンチュウ種の分布		17:00
				17:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
9:00	A301 [○] 比嘉 真太 ¹ ・河野 伸二 ¹ ・親富祖 明 ¹ (¹ 沖縄農研セ) X線は ⁶⁰ Co(^γ 線)の代替となり得るか?アリモドキゾウムシに対するX線照射の検討?	B301 [○] 高津 正子 ¹ (¹ 農工大リーディング大学院) 持続的農業普及に資するカリフォルニア州害虫管理の考察	C301 [○] 高橋 一男 ¹ (¹ 岡山大学大学院環境生命科学研究科) 雑種の翅は何色か?: ショウジョウバエの翅干渉色の遺伝形式	D301 [○] 粥川 琢巳 ¹ ・長峯 啓佑 ² ・古田 賢次郎 ³ ・横井 翔 ¹ ・小林 功 ¹ (¹ 農研機構・生物機能・ ² 南九州大・環境園芸・ ³ 島根大・生物資源) 幼若ホルモン生合成を制御する新たな因子	E301 [○] 中 秀司 ¹ ・徳丸 晋 ² ・久木崎 孝弘 ³ ・杉村 輝彦 ⁴ ・手柴 真弓 ⁵ ・布山 佳浩 ⁶ ・清水 健 ⁷ ・西山 和一 ⁸ ・斉田 善一 ⁸ ・杖田 浩二 ⁹ ・小川 遼 ¹⁰ ・崎本 孝江 ¹¹ ・堀川 拓未 ¹² ・横山 泰之 ¹² ・澤村 信生 ¹³ (¹ 鳥取大・農・ ² 京都防除所・ ³ 丹後普及セ・ ⁴ 奈良農研セ・ ⁵ 福岡農林試・ ⁶ 長野南信農試・ ⁷ 千葉農林総研セ・ ⁸ 石川県病害虫防除室・ ⁹ 岐阜農技セ・ ¹⁰ 愛媛県・果樹研セ・ ¹¹ 愛媛県・農水研・ ¹² 新潟園芸研・ ¹³ 島根農技セ) 梨の新害虫ナシコスカシバの性誘引物質と発生消長・分布把握
9:15	A302 [○] 金城 美沙 ¹ ・日室 千尋 ² ・本間 淳 ² ・大石 毅 ¹ (¹ 沖縄防除セ・ ² 琉球産経) イモゾウムシ人工飼料に添加するサツマイモ粉末量の検討	B302 [○] 本間 淳 ^{1,2,3} ・池川 雄亮 ^{1,2,3} ・日室 千尋 ^{1,2,3} (¹ 琉球産経株式会社・ ² 沖縄県病害虫防除技術センター・ ³ 琉球大・農) ライトトラップによるイモゾウムシ <i>Euscepes postfasciatus</i> の捕獲効率とその季節変動	C302 [○] 鈴木 雅京 ¹ ・服部 美里 ¹ ・青木 不学 ¹ (¹ 東京大学大学院新領域創成科学研究科) ショウジョウバエの雄の求愛行動に関わる Doublesex 標的遺伝子の探索	D302 [○] 外川 徹 ¹ ・下段 詩絵理 ¹ ・成瀬 佳奈 ¹ ・粥川 琢巳 ² ・鈴木 大己 ¹ ・内田 康介 ¹ ・梅 浩平 ¹ ・篠田 徹郎 ² (¹ 日大・文理・ ² 農研機構・生物機能部門) bHLH 転写因子遺伝子 <i>hairy</i> の幼若ホルモンによる組織依存的な発現誘導	E302 [○] 降幡 駿介 ¹ ・岸本 英成 ¹ (¹ 農研機構果樹茶業研究部門) 集合フェロモントラップの設置方法が果樹カメムシ類の捕獲効率におよぼす影響
9:30	A303 [○] 大石 毅 ¹ ・日室 千尋 ² ・金城 美沙 ¹ ・本間 淳 ² (¹ 沖縄防除セ・ ² 琉球産経) イモゾウムシの幼虫飼料に含まれる防腐剤2種の幼虫発育に対する影響	B303 [○] 萬屋 宏 ¹ ・須藤 正彬 ¹ ・佐藤 安志 ¹ (¹ 農研機構 果樹茶業研究部門) 圃場調査におけるチャのチャノミドリヒメヨコバイ抵抗性	C303 [○] 山本 大介 ¹ ・炭谷 めぐみ ² ・加藤 大智 ¹ (¹ 自治医大・医動物学・ ² 農研機構・カイコU) <i>doublesex</i> ノックアウトハマダラカの中腸における遺伝子転写産物の解析	D303 [○] 峯村 俊儀 ¹ ・大出 高弘 ¹ ・新美 輝幸 ² ・塩月 孝博 ³ ・大門 高明 ¹ (¹ 京大院農・ ² 基生研進化発生・ ³ 島根大院生物資源) 無変態昆虫マダラシミにおける幼若ホルモン関連遺伝子群の発現解析	E303 [○] 杖田 浩二 ¹ ・小畑 紀雄 ² (¹ 岐阜県農業技術センター・ ² 岐阜県病害虫防除所) 有効積算温度法によるカキノヘタムシガ第1世代成虫発生時期予測について
9:45	A304 [○] 日室 千尋 ^{1,3} ・本間 淳 ^{1,3} ・池川 雄亮 ^{1,3} ・大石 毅 ² (¹ 琉球産経(株)・ ² 沖縄県病害虫防除技術センター・ ³ 琉球大学農学部) 不妊虫放飼法における不妊雌の効果〜アリモドキゾウムシ、イモゾウムシの例〜	B304 [○] 佐野 正和 ¹ ・大木 健広 ¹ ・小野塚 信哉 ¹ ・高篠 賢二 ¹ ・豊島 真吾 ¹ ・眞岡 哲夫 ¹ (¹ 農研機構・北農研) 2種の雑草寄生アブラムシによるジャガイモYウイルスの媒介	C304 [○] 坂本 卓磨 ¹ ・坊農 秀雅 ² ・天竺桂 弘子 ¹ ・岩淵 喜久男 ¹ (¹ 東京農工大学大学院・ ² ライフサイエンス統合データベースセンター) 多胚性寄生蜂の胚子期トランスクリプトームに基づくヒトホモログのバスウェイ解析	D304 [○] 児玉 彩 ¹ ・松本 圭司 ¹ ・品田 哲郎 ¹ ・後藤 慎介 ¹ (¹ 大阪市大・院理) ナガメの幼若ホルモンの同定と休眠への関与	E304 [○] 奥谷 恭代 ¹ ・福田 侑記 ¹ (¹ 鳥取県農業試験場) 鳥取県のイネ縞葉枯病多発地域におけるヒメトビウンカおよびイネ縞葉枯病の季節推移

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
F301 [○] 阿部 芳久 ¹ ・井手 竜也 ² (九州大学・比文・ ² 国立科学博物館) オウトウシヨウジヨウバエに寄生するブラジルツヤヤドリタマバチの山口県における発見	G301 [○] 池上 真木彦 ¹ ・五箇公一 ¹ (国立環境研究所 生物・生態系環境研究センター) 長期生物季節観測データから読み解くアキアカネの減少	H301 [○] 河津 圭 ¹ ・野口 祐美子 ¹ ・藤田 一平 ¹ (協友アグリ株式会社研究所) 植物由来物質からなる組成物のアザミウマ類に対する誘引効果	I301 [○] 保原 佳明 ¹ ・塚田 森生 ¹ (三重大学) 日本におけるアワダチソウゲンバイの卵寄生蜂の同定とセイトカアワダチソウおよびサツマイモ上での寄生率の季節変化	J301 [○] 若村 定男 ¹ ・森山 太介 ¹ ・木村 杏那 ¹ ・和島 沙季 ¹ ・新垣 則雄 ² (京都学園大・ ² 沖繩農研) リュウキュウツヤハナムグリのオスを誘引するポウランの花香成分: 2,3-DHPiVによるハナムグリの誘引	9:00
F302 [○] 高須 啓志 ¹ ・Nguyen Dat ² ・Tran Chien ¹ ・Sam Layheng ¹ ・Khin LKhin ³ ・松尾 和典 ¹ (九大・ ² ノンラム大・ ³ バタンバン大) ベトナムとカンボジアにおけるキャッサバコナカイガラムシの発生と生物的防除	G302 [○] 小林 正秀 ¹ (京都府森林技術センター) 薬剤に頼らないナラ枯れの防除	H302 [○] 安部 洋 ¹ ・民人 櫻井 ² ・武志 大矢 ³ ・昌平 松浦 ⁴ ・保弘 富高 ² ・有司 澤田 ⁵ ・茂美 瀬尾 ² ・優美 平井 ⁵ ・正明 三富 ⁶ ・賢司 梅村 ⁶ ・雅巳 腰山 ⁷ ・新哉 津田 ⁸ ・正智 小林 ¹ (理研バイオリソース研究センター・ ² 農業・食品産業技術総合研究機構・ ³ 神奈川県農業技術センター・ ⁴ 広島県立総合技術研究所・ ⁵ 理研環境資源科学センター・生物機能利用研究部門・ ⁶ Meiji Seika ファルマ社・ ⁷ 日本ゼオン社・ ⁸ 法政大学) 植物防御を標的としたアザミウマ忌避剤の開発	I302 [○] 高野 俊一郎 ¹ (九州大学農学研究院) 単寄生性の幼虫寄生蜂による奇主識別- <i>Microplitis demolitor</i> による1/10秒単位の早業-	J302 [○] 森山 太介 ¹ ・木村 杏那 ¹ ・和島 沙季 ¹ ・新垣 則雄 ² ・金山 祥子 ¹ ・大池 昌裕 ¹ ・小野 裕嗣 ³ ・安居 拓恵 ³ ・若村 定男 ¹ (京都学園大・ ² 沖繩農研・ ³ 農研機構) イシガキシロテンハナムグリ宮古亜種のオスを誘引するポウランの花香成分: ポウランはハナムグリに化学擬態している?	9:15
F303 [○] Wari David ¹ ・Takagi, Motonori ¹ ・Okada, Ryo ¹ ・Ogawara, Takashi ¹ (Ibaraki Hort. Res. Institute) Compatibility of <i>Beauveria bassiana</i> GHA strain and fungicides against tobacco whitefly <i>Bemisia tabaci</i> (Genadius) ; an <i>in-vitro</i> approach	G303 [○] 中村 達 ¹ (国際農林水産業研究センター) 昆虫利用による食料資源循環を目指して: アメリカミズアブ成虫に関する既知情報と新知見の比較	H303 [○] 田中 雅也 ¹ ・刑部 正博 ² ・八瀬 順也 ¹ ・神頭 武嗣 ¹ ・富原 工弥 ¹ ・佐藤 衛 ³ (兵庫農技総セ・ ² 京大院農・生態情報・ ³ 農研機構野菜花き研) UVB照射によるイチゴのハダニ抑制効果に及ぼす草勢維持用白熱灯併用の評価	I303 [○] 岡部 貴美子 ¹ ・牧野 俊一 ¹ ・島田 卓哉 ¹ ・古川 拓哉 ¹ ・飯島 勇人 ¹ ・亘 悠哉 ¹ (森林総合研究所) オオヤドリカニムシによるマダニの捕食	J303 [○] 汲地 晴 ¹ ・太田 伸二 ¹ ・大村 尚 ¹ (広島大・院・生物圏) キャベツに含まれる新規モンシロチョウ産卵刺激物質の探索	9:30
F304 富樫 和樹 ¹ ・後藤 美詞 ¹ ・Hojun Rim ¹ ・服部 紗也加 ¹ ・小澤 理香 ² ・有村 源一郎 ¹ (東京理科大・生物工・ ² 京都大・生態研) ミント・コンパニオン植物を活用した有用天敵カブリダニの誘引	G304 [○] 森本 信生 ¹ ・木村 澄 ¹ ・芳山 三喜雄 ¹ (農研機構 畜産研究部門) 低温下でのセイヨウミツバチ訪花行動促進の試み	H304 [○] Lifeng Yuan ¹ ・刑部 正博 ¹ (京大院農・生態情報) Effects of temperatures on egg hatchability of mites under UVB radiation	I304 [○] 太田 泉 ¹ ・豊田 周子 ¹ (農研機構野菜花き研究部門) 二次寄生蜂が羽化したアブラムシマミーから一次寄生蜂の種を識別する試み	J304 [○] 大村 尚 ¹ ・大橋 駿樹 ¹ ・太田 伸二 ¹ (広島大・生物圏) シロツメクサ青酸配糖体によるキタキチヨウの産卵阻害効果	9:45

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
10:00	A305 [○] 池川 雄亮 ^{1,2,3} ・日室千尋 ^{1,2,3} ・本間 淳 ^{1,2,3} (¹ 琉球産経(株)・ ² 沖縄県防技センター・ ³ 琉球大学農学部) 不妊虫放飼法における不妊メスの防除効果の数理モデル	B305 [○] 竹内 博昭 ¹ ・石本万寿広 ² ・阿曾 和基 ³ ・岩田 大介 ² ・栗原 潤 ⁴ (¹ 農研機構中央農研・ ² 新潟農総研作物研・ ³ 長野農試・ ⁴ 長野県農業技術課) 生産者圃場の被害実態調査に基づく作付け前のマメシクイガ被害リスク推定	C305 [○] 宮川 (岡本) 美里 ¹ ・宮川 一志 ¹ (¹ 宇都宮大・バイオ) 膜翅目昆虫で進化した性分化初期シグナルの複数化とその分子機構	D305 [○] 小滝 豊美 ¹ ・志賀向子 ² ・後藤 慎介 ³ (¹ 農研機構・生機研・ ² 大阪大・院理・ ³ 大阪市大・院理) チャバネアオカメムの産卵に対するPDF受容体RNAiの効果	E305 [○] 金子 修治 ¹ ・城塚可奈子 ¹ ・柴尾 学 ¹ (¹ (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所) 施設ブドウにおけるクワコナカイガラムシのフェロモントラップによる誘殺消長の把握と有効積算温度に基づく幼虫孵化ピーク日の推定
10:15	A306 [○] 上室 剛 ¹ ・福田 健 ² ・溜池 雄志 ¹ ・重水 剛 ³ (¹ 鹿児島農総セ大隅支場・ ² 鹿児島農総セ茶業部・ ³ 鹿児島曾於畑かんせ) ダイコンのキスジノミハムシに対する2種粒剤の併用効果	B306 [○] 福田 侑記 ¹ ・奥谷 恭代 ¹ ・橋詰 遼 ² ・中 秀司 ² (¹ 鳥取県農業試験場・ ² 鳥取大学農学部) 鳥取県のダイズほ場におけるマメシクイガ被害発生要因の解析	C306 [○] 大門 高明 ¹ (¹ 京都大学大学院農学研究科) 卵移行ペプチドを用いた各種昆虫の卵母細胞への外来タンパク質の導入	D306 [○] 長峯 啓佑 ¹ ・粥川 琢巳 ² ・菅野 善明 ¹ ・石川 幸男 ³ ・新谷 喜紀 ¹ (¹ 南九州大・環境園芸・ ² 農研機構・生物機能・ ³ 東大院・農) 絶食誘導蛹化におけるFOXOの役割	E306 [○] 井上 広光 ¹ (¹ 農研機構・果樹茶) 粘着板上の劣化した昆虫サンプルは遺伝子診断にどこまで耐えられるか? ビワキジラミの例
10:30	A307 [○] 石川 博司 ¹ ・小出 哲哉 ¹ ・大野 徹 ¹ (¹ 愛知農総試) 愛知県内のダイズにおけるオオタバコガの防除適期について	B307 [○] 井村 岳男 ¹ ・竹中 勲 ² ・豊田 剛己 ³ (¹ 奈良農研セ・ ² 奈良東部農振・ ³ 東京農工大学) 奈良県の露地工ダマ栽培における緑豆すき込み法と黒マルチ被覆の併用によるダイズシストセンチュウ対策	C307 [○] 乾 智洋 ¹ ・瀬筒 秀樹 ² ・大出 高弘 ¹ ・大門 高明 ¹ (¹ 京都大院・農・ ² 農研機構) マイクロRNA <i>let-7</i> はカイコ幼虫において蛹変態を制御する	D307 [○] 船橋 智輝 ¹ ・齊藤 惇基 ¹ ・小野 肇 ¹ (¹ 京大院・農) Ecdysone 生合成未知経路の解明に向けて: 7-dehydrocholesterol 類縁体の脱皮活性評価	E307 [○] 小川 遼 ¹ ・井上 広光 ² ・崎山 進二 ¹ ・松崎 幸弘 ¹ (¹ 愛媛県・果樹研セ・ ² 農研機構・果茶研) マス検定法による新害虫ビワキジラミの検出の試み
10:45	A308 [○] 諏訪 順子 ¹ ・清水 舞 ¹ ・西宮 智美 ¹ (¹ 茨城農総セ農研) イネ縞葉枯病発病抑制のためのヒメトビウシカに対する投げ込み型の殺虫剤を用いた本田防除	B308 [○] 木村 勇司 ¹ ・對馬 佑介 ¹ (¹ 青森農林総研) エンバク野生種の間作によるダイコンのキスジノミハムシ被害軽減	C308 [○] 尾崎 克久 ¹ ・宇賀神 篤 ¹ ・龍田 勝輔 ² ・吉川 寛 ¹ (¹ JT生命誌研究館・ ² 佐賀大・総合分析実験センター) アゲハチョウが食草を嫌いになるってどういうしくみ?	D308 [○] 小野寺 駿 ¹ ・麻生 久 ¹ ・原田 昌彦 ¹ ・堀 雅敏 ¹ (¹ 東北大院農) 昆虫細胞に対する青色光の照射波長による傷害作用の違い	E308 [○] 青木 元彦 ¹ ・寺山 徹 ² ・植松 徹 ² (¹ 北海道立総合研究機構道南農業試験場・ ² 渡島農業改良普及センター) 近年の北海道渡島地方におけるダイズクキタマバエの被害状況と防除時期の検討
11:00	A309 [○] 嘉数 若子 ¹ ・新垣 則雄 ¹ ・田嶋 嘉治 ² ・望月 康司 ³ ・玉城 由美子 ³ ・知念 さゆり ³ ・入嵩西 敦 ⁴ ・永山 敦士 ⁵ ・内藤 尚之 ⁶ (¹ 沖縄農研セ・ ² 明光化成(株)・ ³ 興南施設管理(株)・ ⁴ 石垣島製糖(株)・ ⁵ 沖縄県営農支援助課・ ⁶ 信越化学工業(株)) 合成性フェロモンを放出する封入揮発装置を用いたイネヨトウに対する交信かく乱法による防除効果	B309 [○] 角 拓人 ¹ ・小林 武 ¹ ・三宅 孝明 ¹ ・加藤 康仁 ¹ (¹ 日本化薬株式会社・アグロ研究所) チオシクラムシウ酸塩の難防除害虫コナガに対する全発育段階における殺虫活性	C309 [○] 徳田 誠 ¹ ・鈴木 義人 ² ・藤田 将平 ¹ ・Ayman Elsayed ¹ ・松田 浩輝 ¹ (¹ 佐賀大・農・ ² 茨城大・農) 陸生節足動物における植物ホルモン(オーキシン・サイトカイニン) 内生量の比較および植食性・ゴール形成性との関連	D309 [○] 古木 隆寛 ¹ ・鳥 義野 ¹ ・原田 哲夫 ¹ (¹ 高知大学・環境生理学研究室) 外洋樓セントウミアメンボ・沿岸樓ケンウミアメンボ・沿岸樓シマアメンボの温度耐性の比較について	E309 [○] 渋谷 和樹 ¹ ・遠藤 信幸 ¹ ・竹内 博昭 ¹ (¹ 農研機構中央農研) 透明フェロモントラップはウコンノメイガの捕獲効率を劇的に向上させる
11:15	A310 [○] 新山 徳光 ¹ ・佐山 玲 ¹ (¹ 秋田県農業試験場) 水稲の高密度播種苗移植における育苗箱施用剤のイネミズゾウムシに対する防除効果第2報 シアントラニリプロール剤の防除効果	B310 [○] 金尾 健司 ¹ ・関根 崇行 ² ・長澤 淳彦 ¹ ・堀 雅敏 ¹ (¹ 東北大院・農・ ² 宮城農園研) 葉ダイコンリピンダマルチのタマナギンウワバに対する産卵抑制効果		D310 [○] 宇賀神 篤 ¹ ・西野 浩史 ² ・尾崎 克久 ¹ (¹ JT生命誌研究館・ ² 北大・電子研) ナミアゲハのメス成虫における「ミカンの葉の味」に反応する脳領域の解析	E310 [○] 岩田 大介 ¹ ・石本万寿広 ¹ (¹ 新潟農総研作物研) ウコンノメイガに対する透明コーン型のフェロモントラップの有効性

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
F305 [○] 安達 鉄矢 ¹ ・阿部 青葉 ² ・Adema Barry ² ・大野和朗 ² (¹ 宮崎大・TT ² 宮崎大・農) チャノミドリヒメヨコバイの卵寄生蜂に対する天敵温存植物の利用	G305 [○] 三浦 早貴 ¹ ・廣川 諭 ¹ ・手塚 俊行 ¹ ・小原 慎司 ¹ ・伊藤 健司 ¹ (¹ 株式会社アグリ総研) 紫外線カットフィルムがマルハナバチ類に及ぼす影響Ⅰ. セイヨウオオマルハナバチとクロマルハナバチに及ぼす影響	H305 [○] 片山 晴喜 ¹ ・土井 誠 ¹ ・斉藤 千温 ¹ ・古木 孝典 ² ・万年 潤哉 ² (¹ 静岡県農林技術研究所・ ² 静岡県志太襟原農林事務所) UV-B照射+光反射シート+天敵カブリダニによるイチゴのナミハダニ防除	I305 [○] 田中 誠二 ¹ (¹ 旧農生研) バッタ3種の一斉ふ化行動を制御する仕組みの比較	J305 [○] 小野 肇 ¹ ・下田 将大 ¹ ・勝手 智子 ¹ ・小林 拓矢 ¹ ・西田 律夫 ¹ ・大島 一正 ² (¹ 京大・院・農・ ² 京都府大・院・生命環境) クルミホソガの寄主転換の鍵となる産卵刺激物質の同定	10:00
F306 [○] 柿元 一樹 ¹ ・安部 順一郎 ² ・大野 和朗 ³ (¹ 鹿児島農総C・ ² 農研機構・西日本農研・ ³ 宮崎大農) アザミウマ類およびアブラムシ類の防除に有効な天敵温存植物を整理する	G306 [○] 廣川 諭 ¹ ・三浦 早貴 ¹ ・手塚 俊行 ¹ ・森 修二郎 ¹ ・小原 慎司 ¹ ・伊藤 健司 ¹ ・高橋 純一 ² (¹ 株式会社アグリ総研・ ² 京都産業大学) 紫外線カットフィルムがマルハナバチ類に及ぼす影響Ⅱ. エゾオオマルハナバチとオオマルハナバチに及ぼす影響	H306 [○] 伊藤 健司 ¹ ・手塚 俊行 ¹ ・小原 慎司 ¹ ・長坂 幸吉 ² ・光永 貴之 ² ・日本典秀 ² (¹ 株式会社アグリ総研・ ² 農研機構中央農研) 代替餌付きバンカーと混合マミール製剤によるピーマンでのワタアブラムシ防除効果	I306 [○] 三浦 一芸 ¹ ・松村 健太郎 ² ・宮竹 貴久 ² (¹ 農研機構・西日本農研センター・ ² 岡山大院・環境生命) 行動形態に地域集団間変異の見られるコクヌストモドキの系統関係	J306 [○] 今野 浩太郎 ¹ ・志村 幸子 ¹ ・上野 千尋 ¹ ・新川 徹 ¹ ・中村 匡利 ¹ (¹ 農研機構) クワ乳液由来 MLX56 様耐虫性タンパク質は中腸囲食膜を顕著に肥厚させて昆虫の消化・成長を阻害する全く新規な作用機構を持つ耐虫防御タンパク質である	10:15
F307 [○] 矢野 栄二 ¹ ・池川 雄亮 ² ・Lia Hemerik ³ (¹ 京大生態研・ ² 琉球産経・ ³ Wageningen Univ) モデルによる雑食性天敵タバコカスミカメのバンカー法の効果の評価	G307 [○] 前田 太郎 ¹ (¹ 農研機構・生物機能部門) ニホンミツバチにおけるアカリダニの全国浸潤状況	H307 [○] 長坂 幸吉 ¹ ・日本典秀 ¹ ・光永 貴之 ¹ ・有本 誠 ¹ ・手塚 俊行 ² ・小原 慎司 ¹ ・伊藤 健司 ² (¹ 農研機構 中央農研・ ² (株)アグリ総研) 施設ピーマン・ナスでの主要アブラムシ類に対する次世代型バンカー資材キットによる防除効果	I307 [○] 宮竹 貴久 ¹ ・内山 博允 ³ ・佐々木 謙 ² ・日ノ澤 祥悟 ² ・田中 啓介 ³ ・松村 健太郎 ¹ ・矢嶋 俊介 ³ (¹ 岡山大学・ ² 玉川大学・ ³ 東京農業大学) 死にまね行動を制御する遺伝子群の探索	J307 [○] 久保 良平 ¹ ・小野 正人 ^{1,2} (¹ 玉川大・ミツバチ科学・ ² 玉川大院・農・昆虫機能) エゾエンゴサク(ケシ科)の花香成分に含まれるエゾコマルハナバチ女王の誘引物質	10:30
F308 [○] 大鷲 友多 ¹ ・三浦 一芸 ¹ (¹ 農研機構 西日本農業研究センター) ブラインシュリンプ卵を用いたタバコカスミカメの管理の検討	G308 [○] 光畑 雅宏 ¹ (¹ アリストライフサイエンス) 在来種クロママルハナバチによる日本梨の受粉効果(予報)	H308 [○] 鍋谷 霞 ¹ ・清水 信孝 ¹ ・柳田 裕紹 ² ・長坂 幸吉 ³ ・手塚 俊行 ⁴ ・小原 慎司 ⁴ ・伊藤 健司 ⁴ (¹ 福岡農林試・ ² 福岡県園芸振興課・ ³ 農研機構中央農研・ ⁴ アグリ総研) 福岡県の輸出用イチゴ栽培における2種アブラバチを用いた次世代型バンカー法の現地実証	I308 [○] 安部 淳 ¹ (¹ 明治学院大) 血縁関係によって性比を調節する寄生バチ <i>Melittobia</i> における血縁認識機構の検討	J308 [○] 西田 律夫 ¹ ・Tan Keng Hong ² ・小野 肇 ³ (¹ 京都市・ ² 元マレーシア理大・ ³ 京大院・農) 小型のミバエ <i>Bulbophyllum ecomutum</i> における花香成分と形態の二極化	10:45
F309 [○] 小原 慎司 ¹ ・手塚 俊行 ¹ (¹ 株式会社アグリ総研) 捕食性天敵導入時に使用する代用餌システムの開発	G309 [○] 光野 秀文 ¹ ・荒木 章吾 ¹ ・二木 佐和子 ¹ ・黒田 枝里 ¹ ・照月 大悟 ¹ ・櫻井 健志 ² ・小熊 久美子 ¹ ・神崎 亮平 ¹ (¹ 東大先端研・ ² 東農大) 昆虫嗅覚受容体を発現する Sf21 細胞を利用した水道原水中のカビ臭検知	H309 [○] 鈴木 香深 ¹ ・光永 貴之 ² ・長坂 幸吉 ² (¹ 宮城農園研・ ² 農研機構中央農研) 2種アブラバチにおける植物およびアブラムシへの寄主選択性について	I309 [○] 李 楊 ¹ ・秋元 信一 ¹ (¹ 北大・農・昆虫体系) アブラムシコロニーにおけるクローン間競争と密度依存効果	J309 [○] 与謝野 舜 ¹ ・齋田 康彦 ¹ ・増田 秀平 ¹ ・陳 君綺 ¹ ・松田 一寛 ¹ ・堀 雅敏 ¹ (¹ 東北大院・農) コウチュウ目における筋節味覚感覚子の普遍性とその役割に関する形態学的、電気生理学的解析	11:00
F310 [○] 東田 景太 ¹ ・大朝 真喜子 ¹ ・森 光太郎 ¹ (¹ 石原産業株式会社) アルテミア耐久卵の散布によるアカメガシワクダアザミウマのヒラズハナアザミウマ防除効果の増強	G310 [○] 櫻井 健志 ¹ ・塩田 裕介 ² ・藤井 毅 ³ ・光野 秀文 ² ・二木 佐和子 ² ・内野 恵郎 ⁴ ・瀬筒 秀樹 ⁴ ・石川 幸男 ³ ・神崎 亮平 ² (¹ 東農大・農・ ² 東大・先端研・ ³ 東大院・農・ ⁴ 農研機構) カイコガの性フェロモン受容システムを利用したカビ臭の高感度検出	H310 [○] 光永 貴之 ¹ ・長坂 幸吉 ¹ (¹ 農研機構中央農研) 3種のアブラムシ土着寄生蜂における寄主範囲の比較	I310 [○] 長 泰行 ¹ (¹ 千葉大院・応用昆虫) 被食者による捕食リスクに応じた卵の共同保護と血縁認識	J310 [○] 笹屋 一大 ¹ ・山本 雅信 ¹ ・鈴木 文詞 ¹ (¹ 農工大院・BASE) カブリダニ類由来の粗抽出物に対するナミハダニの化学定位置行動	11:15

	A会場	B会場	C会場	D会場	E会場
14:30	A311 [○] 須藤 正彬 ¹ ・佐藤 安志 ¹ ・萬屋 宏 ¹ ・笠井 敦 ² (¹ 農研機構・茶病害虫U・ ² 静岡大・農)チャメトキサム種子処理剤によるナガチャコガネ成虫防除:茶園での効果推定	B311 [○] 大林 隆司 ¹ (¹ 東京都農総研)赤銀色マルチはアザミウマを減らすのか?~プロヒドロジャスモン液剤施用による間接的検証~	C311 [○] 中辻 幸奈 ^{1,2} ・福岡 修一 ² ・片寄 裕一 ² ・水林 達実 ² ・畠山 吉則 ¹ ・田村 泰盛 ² (¹ 日大生物資源・ ² 農研機構)シヨートリード型次世代シーケンサーを用いたトビイロウカ抵抗性水稻中間母本のグラフ遺伝子型解析	D311 [○] 谷合 幹代子 ¹ ・新川 徹 ¹ ・前田 太郎 ¹ (¹ 農研機構生物機能利用)ヒメハナカメムシの生殖器外交尾	E311 [○] 大野 徹 ¹ ・徳丸 晋 ² ・平江 雅宏 ³ ・太田 泉 ⁴ ・河野 勝行 ⁴ ・八瀬 順也 ⁵ (¹ 愛知農総試・ ² 京都府農技センター・ ³ 農研機構・中央農研・ ⁴ 農研機構・野菜花き研・ ⁵ 兵庫農技総セ)IRビデオ撮影によるシロイチモジトウのフェロモントラップ誘殺状況把握
14:45	A312 [○] 福田 健 ¹ ・上室 剛 ¹ ・松比良 邦彦 ¹ ・崎原 敏博 ² (¹ 鹿児島農総セ・ ² 鹿児島南薩地域振興局)チャノホソガのジアミド系薬剤に対する効果の低下事例	B312 [○] 飯田 博之 ¹ ・須藤 正彬 ² ・山中 武彦 ³ ・山村 光司 ³ ・上樂 明也 ⁴ ・桑崎 誠剛 ⁴ ・太田 泉 ¹ ・武田 光能 ¹ (¹ 農研機構野菜花き研究部門・ ² 農研機構果樹茶業研究部門・ ³ 農研機構農業環境変動研究センター・ ⁴ 農研機構生物機能利用研究部門)ネギアザミウマに対する薬剤散布方法と薬剤抵抗性遺伝子頻度の推移の関係	C312 生駒 樹央 ^{1,2} ・服部 誠 ² ・福岡 修一 ² ・山本 敏央 ³ ・松本 由記子 ² ・中辻 幸奈 ^{1,2} ・畠山 吉則 ¹ ・田村 泰盛 ² (¹ 日大生物資源・ ² 農研機構・ ³ 植物研)コシヒカリ遺伝背景でトビイロウカ抵抗性を示すIR64由来の遺伝子の解析	D312 [○] 綿引 大祐 ¹ ・吉松 慎一 ^{1,2} (¹ 東京農大・ ² 農研機構農環研)東南アジアの著名害虫ノコバヨトウとその近縁種オオノコバヨトウの幼生期	E312 [○] 遠藤 信幸 ¹ ・本田 善之 ² ・岩本 哲弥 ² ・西野 実 ³ ・笹山 哲央 ³ (¹ 農研機構中央農研・ ² 山口農林総セ・ ³ 三重農研)LEDトラップを利用したミナミアオカメムシやアオクサカメムシの発生量および被害予測
15:00	A313 [○] 田村 悠 ¹ ・中石 一英 ¹ ・米津 聡浩 ¹ (¹ 高知県農業技術センター)輸出用切り花における高濃度炭酸ガス殺虫方法の検討	B313 [○] 城塚 可奈子 ¹ ・柴尾 学 ¹ (¹ 大阪環水研)異なる作物におけるネギアザミウマの産雌型と産雄型の生息割合	C313 植田 浩一 ¹ ・釘宮 聡一 ² ・田端 純 ² ・北本 宏子 ¹ ・光原 一郎 ³ (¹ 農研機構農環研セ・ ² 農研機構中央農研・ ³ 農研機構生物機能)タバコナジラミに同種の食害トマトやToMV感染トマトが及ぼす影響	D313 [○] 濱口 京子 ¹ ・後藤 秀章 ² ・升屋 勇人 ³ ・鎌田 直人 ⁴ (¹ 森林総研・関西・ ² 森林総研・九州・ ³ 森林総研・ ⁴ 東大・演習林)南アジアから日本にかけて採集されたカシノナガクイムシの分子系統解析	E313 [○] 笹山 哲央 ¹ ・西野 実 ¹ ・遠藤 信幸 ² ・本田 善之 ³ ・岩本 哲弥 ³ (¹ 三重県農業研究所・ ² 農研機構中央農研・ ³ 山口県農林総合技術センター)イチモンジカメムシのフェロモントラップを低く設置すれば捕獲数が増加し、発生予測に有効利用できる
15:15	A314 [○] 藤原 亜希子 ^{1,2} ・小川 健司 ² ・土田 努 ³ (¹ 群馬大・ ² 食健康・ ³ 理研・CSRS・ ³ 富山大院・理工)タバコナジラミ内部共生細菌に着目したTYLCV媒介防除資材の開発に向けて	B314 [○] 奈良井 祐隆 ¹ ・山本 隼佑 ¹ ・金森 健一 ¹ ・山根 涉 ¹ (¹ 島根県農業技術センター)有機栽培露地ナスほ場をネットで覆った際のアブラムシ類と天敵類の発生状況	C314 [○] 浦入 千宗 ¹ ・藤戸 聡史 ¹ ・山田 朋宏 ¹ ・河合 章 ¹ ・武田 光能 ¹ ・太田 泉 ¹ (¹ 農研機構野菜花き研究部門)ネギハモグリバエ、ネギアザミウマ強度抵抗性ネギ系統の抵抗性機構の解明	D314 [○] 稲元 哲朗 ^{1,2} ・松尾 祐弥 ² ・万谷 洋平 ³ ・横山 俊史 ³ ・星 信彦 ³ ・北川 浩 ³ ・高橋 純一 ² (¹ 京都府・ ² 京産大総合生命・ ³ 神戸大院農)ミツバチにおける全身組織標本作製法の開発とニホンミツバチワーカーの全身臓器の把握	E314 [○] 溝部 信二 ¹ ・中川 浩二 ² (¹ 山口農林総技セ・ ² 山口県美祢農林水産事務所)山口県におけるイネカメムシの発生
15:30	A315 [○] 櫻井 民人 ¹ ・安部 洋 ² ・大矢 武志 ³ ・松浦 昌平 ⁴ ・梅村 賢司 ⁵ ・三富 正明 ⁵ ・腰山 雅巳 ⁶ (¹ 農研機構中央農研・ ² 理研BRC・ ³ 神奈川農技セ・ ⁴ 広島総研農技セ・ ⁵ Meiji Seika ファルマ・ ⁶ 日本ゼオン)トマトにおける害虫忌避剤プロヒドロジャスモンの処理条件	B315 [○] 上里 卓己 ¹ ・喜久村 智子 ² (¹ 沖縄農研セ・ ² 沖縄北部普及課)露地オクラのフタテンミドリヒメヨコバイに対する天敵温存植物導入による密度抑制効果	C315 [○] 大井田 寛 ¹ ・福田 寛 ¹ ・鈴木 健司 ¹ ・発地 空介 ² ・清水 敏夫 ² (¹ 千葉農林総研・ ² 千葉県立農業大学校)柿園場におけるトビイロヒョウタンゾウムシの寄主植物適性の評価	D315 [○] Negm, Mohamed W. ^{1,2,3} ・Gotoh, Tetsuo ^{1,4} (¹ Ibaraki Univ.・ ² Assiut Univ.・ ³ Egypt・ ⁴ JSPS fellow・ ⁴ Ryutsu Keizai Univ.) Redescription of <i>Agistemus lobatus</i> Ehara, 1964 and <i>A. terminalis</i> (Quayle, 1912) (Acari: Stigmaeidae) with DNA barcoding	E315 [○] 平江 雅宏 ¹ ・柴 卓也 ¹ (¹ 農研機構 中央農業研究センター)黄色粘着トラップによるウンカ・ヨコバイ類の捕獲にみられる雌雄差の要因

F会場	G会場	H会場	I会場	J会場	
	<p>G311[○]青木 隆夫¹・内黒羽子 徹¹・諏訪 明之¹・藤岡伸祐¹ (日本農業株式会社) フルベンジアミドのジアミド抵抗性コナガに対する共力効果の検討</p>	<p>H311[○]河村 俊和¹・本田善之¹・岩本 哲弥¹ (山口県農林総合技術センター) 施設アスパラガスのネギアザミウマの物理的防除における光反射資材の検討</p>	<p>I311[○]安藤 優樹¹・吉水 敏城¹・石川 幸男¹・松尾 隆嗣¹ (東京大学 農学生命科学研究科) 空腹状態がテナガシヨウジョウバエの交尾行動に与える影響</p>	<p>J311[○]三高 雄希^{1,3}・高田守^{2,3} (京工織大・資源昆虫学・京大院・農・昆虫生態・³学振PD) シデムシの親はフェロモンで子の餌乞いを操作する</p>	14:30
	<p>G312[○]内田 聡¹・安宅 雅¹ (バイエルクロップサイエンス (株)) 新規殺虫剤テトラニプロールに関する研究1～育苗箱施用による水稻害虫に対する効果～</p>	<p>H312[○]柴尾 学¹・城塚 可奈子¹・金子 修治¹・岩崎大樹² (大阪環農水研・²(株)光波) 赤色LED照射および赤色ネット展張による施設ナス・キュウリのアザミウマ類の密度抑制</p>	<p>I312[○]嶺川 一喜¹・石川 幸男¹・松尾 隆嗣¹ (東京大学) 求愛行動によって単婚性のメスが多婚性になる</p>	<p>J312[○]辻井 (藤原) 直¹・安居 拓恵¹・安田 哲也¹・若村 定男²・秋野 順治³・深谷 緑⁶・鈴木 敏夫⁴・萩原 久大⁴・星 隆⁴・小野 裕嗣⁵ (農研機構 中央農研・²京都学園大・³京都工織大・⁴新潟大・⁵農研機構 高度解析センター・⁶日本大学) ゴマダラカミキリの接触性フェロモン成分ゴマダラクトン類の活性評価</p>	14:45
	<p>G313[○]岡田 浩一¹・杉浦 健司¹ (バイエルクロップサイエンス (株)) 新規殺虫剤テトラニプロールに関する研究2～種子処理による水稻害虫に対する効果～</p>	<p>H313[○]上村 香菜子¹ (福岡県農林業総合試験場) 天敵カブリダニ類の利用による施設バラのハダニ類防除の可能性</p>	<p>I313[○]吉水 敏城¹・石川 幸男¹・松尾 隆嗣¹ (東大・農) 画像トラッキングによるテナガシヨウジョウバエの長時間・複数個体同時行動解析</p>	<p>J313[○]藤井 毅^{1,2}・櫻井 健志^{3,4}・伊藤 克彦²・横山 岳²・神崎 亮平⁴ (東大院農・応用昆虫・²農工大院農・蚕学・³東京農大農・デザイン農学・⁴東大・先端研) カイコガ属のフェロモン腺中にみられる油滴について</p>	15:00
	<p>G314[○]森下 祥¹・山口 麻紀子¹・福地 俊樹¹ (アグロカネシヨウ株式会社) 新規殺虫剤テトラニプロールに関する研究3～チョウ目害虫に対する生物学的特性～</p>	<p>H314[○]井口 雅裕¹ (和歌山農試) ナミハダニに対する気門封鎖型薬剤の効果</p>	<p>I314[○]原田 誠大¹・中田 敏是²・小島 渉¹ (山口大・理・²千葉大・工) ハナムグリは飛翔巧者なのか? : コガネムシ科における飛翔能力の種間比較</p>	<p>J314[○]安居 拓恵¹・辻井 (藤原) 直¹・安田 哲也¹・深谷 緑²・桐山 哲²・中野 昭雄³・渡邊 崇人⁴・森 謙治⁵ (農研機構・中央農研・²日大・生物資源・³徳島農総技セ・⁴徳島大学・⁵東洋合成) クビアカツヤカミキリのオス成虫が放出する性・集合フェロモン主成分の光学活性体同定と触角応答および野外誘引実験</p>	15:15
	<p>G315[○]桑原 大樹¹・徳丸 晋²・高城 圭子¹・諏訪 明之¹・藤岡 伸祐¹ (日本農業 (株))・²京都防除所) ピリフルキナゾン (コルト[®]) に関する研究 (第6報) —ネギアザミウマに対する防除効果—</p>	<p>H315[○]窪田 聖一¹・朝倉 将斗¹・伊藤 博章² (愛媛県農林水産研究所・²愛媛県病害虫防除所) 施設イチゴにおけるヒメナガカメムシの多発要因の解析</p>	<p>I315[○]中野 亮¹ (農研機構・果樹茶部門) ヤガ類の飛翔特性とコウモリ回避行動、そして超音波コミュニケーション</p>		15:30